

にわ リパの庭づくり

福井さとこ 作・絵 のら書店 刊

リパ、
シルクスクリーンって、
なあに？
シーコロ、いっしょに
見てみましょう！



『リパの庭づくり』を彩るたくさんの絵は、シルクスクリーンという技法で描かれています。シルクスクリーンは、孔版という種類の版画です。網の孔（あな）からインクを押し出して、絵を刷りとります。古くは日本の型染めに由来するとのこと…。実際、どんなふうにするのか、作者の福井さんがシルクスクリーンを刷っている工房に行ってきました！

リパ：福井さん、こんにちは！
福井さん（以下福）：こんにちは～

1 準備！



福：今日はこの絵を刷っていきます。これはパソコンで作った設計図です。



福：インクも作っておきます。インクには「シーコロイエロー」など、それぞれ名前をつけています。



福：まず、半透明の紙に黒で絵を描きます。色数分（7色なら7枚に）描き分けます。

2 版づくり

福：シルクスクリーンの網にバケットを使って、均一に乳剤をつけます。そのあと乾かします。



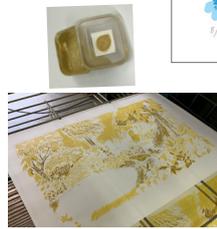
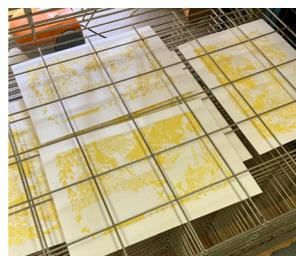
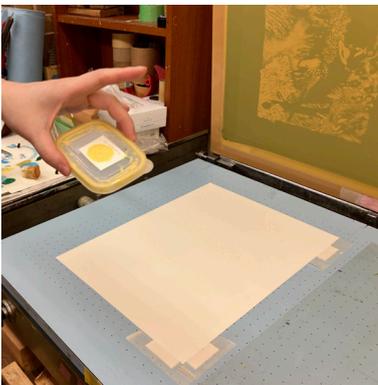
福：黒の描画面を貼り付け、光を当てて、絵を網に転写させます。



福：網を水で洗います。黒い描画部分は、光を通さないで硬化せず、水で流れ落ちて、絵の形に穴があきます。この穴にインクが通ります。版の出来上がり！

3 刷ります！

福：刷り機に版と紙をセットして、シーコロイエローを刷ります！ スキージーで一気に！



福：シーコロイエローが刷りあがりました！よく乾かしておきます。

福：次の色も順番に、前に刷った紙に、重ねて刷っていきます。

完成です！

リパ：色が重なると、さらに多くの色数ができて、華やかだね！